

2012年度 日本移民学会ワークショップ

第1日目:2012年9月29日(土) 記念講演・研究発表 / 第2日目:2012年9月30日(日) 見学会

鳥取県から日本の移民を考える

後援：境港市教育委員会

会場：境港市・夢みなとタワー・シアタールーム

<http://www.yumeminatotower.gr.jp/shisetu/theater.html>

〒684-0046 鳥取県境港市竹内団地 255-3 TEL 0859-47-3800

第1日：2012年9月29日(土) 13:00～17:00

—第1部 記念講演—

演題：『20世紀の架け橋』 ゴードン門田氏

全カナダ日系人協会初代会長

日系移民百年執行委員長

日系カルチュラルセンター協会理事

2005年旭日小授章受勲



—第2部 海を渡った鳥取県の人びと—

ブラジルに渡った鳥取県の人びと—第2アリアンサ(鳥取村)の建設—

小山富見男 (鳥取敬愛高校)

満州に渡った鳥取県の人びと—大陸への遙かなる夢—

西村 芳将 (鳥取県立公文書館)

カナダに渡った鳥取県の人びと—ガーディナーとしての誇り—

河原 典史 (立命館大学)

📖 ゴードン門田氏の紹介

1905(明治38)年、鳥取県東伯郡橋津村から製材の勉強を目的としてカナダに移住した門田勘太郎は、6年後橋津に戻って同郷の国田繁野と結婚しました。カナダに再渡航した勘太郎には、ブリティッシュ・コロンビア州沿岸各地で8人の子供が誕生しました。末子6男のゴードン・亮は1933(昭和8)年ニューウエストミンスター市で生まれました。7歳の時、母に連れられて日本訪問の際、太平洋戦争勃発により神戸に居住したゴードンは、戦時中は橋津村に疎開して終戦となり、1946(昭和21)年再び神戸に戻って、関西学院高等部を卒業後、1952年に18才でカナダに帰国しました。

1961年、バンクーバーで旅行業に入り、1964年以降は日本にカナダを紹介して、カナダへの観光開発と促進に貢献してきました。1973年にキャナウェー・コンサルタント社を設立して、カナダ-日本間の事業開発、または旅行業コンサルタントとして、日本とカナダの交流を促進する多くのプロジェクトを手がけてきました。

1950年代からコミュニティーや公共活動に入り、日系人月刊誌『月報』編集長、バンクーバー日系市民協会会長、日系移民百年執行委員長、さらに日系人補償問題を取りあげ、1988年に成果をもたらした全カナダ日系人協会の初代会長も務めてきました。近年には、2000年にバーナビー市に設立された日系人の多目的施設「日系プレース」を建設した日系カルチュラルセンター協会の理事長を8年務め、現在も理事の一員として活躍されています。

📖 報告内容

小山富見男(鳥取敬愛高校) 「ブラジルに渡った鳥取県の人びと—第2アリアンサ(鳥取村)の建設—」

明治41年の「笠戸丸移民」に始まるブラジル移住は、コーヒー園の契約労働者としての出稼ぎでした。そのようななかで大正13年に、定住をめざした移住地を信濃海外協会が建設しました。これが、アリアンサ移住地(信濃村)です。このことを知った当時の鳥取県知事・白上祐吉は、大正15年5月に鳥取県海外協会を設立し、信濃海外協会の協力を得て第2アリアンサ(鳥取村)を建設しました。後に富山県知事に転出した白上は、昭和2年に富山でも海外協会を設立し、信濃海外協会と共営の移住地・第3アリアンサ(富山村)を建設しました。サンパウロ州の奥地に建設された大アリアンサ移住地は、現在でも一大日系人社会なのです。

西村 芳将(鳥取県立公文書館) 「満州に渡った鳥取県の人びと—大陸への遙かなる夢—」

「我々は出稼ぎに行くでにゃーだけ、満州の子にならあかと思って行った。二度とこっちのほうに戻って来んつもりだった」。昭和16年、14歳のときに両親に内緒で満蒙開拓青少年義勇軍に志願した倉吉市の男性は、当時を懐かしく振り返りました。青少年義勇軍の送出率日本一を誇った戦前の鳥取県の満州移民政策について、『満蒙開拓と鳥取県』(鳥取県史ブックレット7)の中国現地調査の様子なども交えて報告させていただきます。

河原 典史(立命館大学) 「カナダに渡った鳥取県の人びと—ガーディナーとしての誇り—」

第二次世界大戦以前、カナダへ渡った日本人の就業には、特定の業種に集中する傾向がありました。弓ヶ浜半島を中心とする鳥取県出身者の多くは、サケ缶詰工場で働きましたが、それ以上にガーディナーとして活躍しました。彼らは、日本庭園を対象とするような造園業(Landscape Design)ではなく、芝を刈り、落ち葉を拾う庭園業(Maintenance)として活動したのです。戦後、バンクーバー日系ガーディナーズ協会が設立されたとき、初代会長に任命された角 知通氏もまた、鳥取県出身なのです。

📖 第2日: 2012年9月30日(日) 見学会『境港市からの移民のゆかりの地を訪ねる』

8:20 JR 米子駅集合

8:42 米子駅発境港駅行き JR 列車乗車

9:25 境港駅着 マイクロバス乗車

境港港、海とくらしの史料館(北米移住120周年記念展示)、上道小学校(村上龍頌徳碑)

上道墓地(足立儀代松顕彰碑)、水木しげる記念館

15:00 米子空港 着(米子15:55→ANA818→羽田17:20)

15:30 JR 米子駅 解散(米子16:27→やくも24号→岡山18:38/岡山18:49→のぞみ54号→新大阪19:35)

*日本移民学会の会員で参加希望者は、会報に同封された申込用紙にてお申し込み下さい。(参加費2,000円・昼食代含)

📖 表面の写真 カナダ・フレーザー川河口のバンクーバー缶詰工場に併設されたノース・アーム国民学校

1900年当時、西伯郡上道村の5名や余子村の2名など、この工場には現在の境港市近辺の出身者が多く居住し、併設された日本語学校には2世の子供たちが通っていました。

2012 年度 日本移民学会ワークショップ 出欠表

E-mail ご利用の方は、本用紙を PDF として添付、またはメール本文に①～⑦の事項を明記の上、ご送信下さい。

■ 郵送 〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町 35
京都女子大学文学部史学科 坂口満宏研究室気付
日本移民学会事務局

■ FAX/TEL 075-531-9102

■ E-mail imingakkai@gmail.com 締切は 9 月 7 日 (金) です。

※ 必要事項を記入し、該当する項目にマークしてください。参加費、懇親会費は当日、会場受付にてお支払いください。なお、学会出張依頼状が必要な方は、学会事務局にお問い合わせください。

① 氏名 _____
(一般会員 院生・学生会員 非会員 非会員院生・学生)

② 所属 _____

③ 連絡先電話番号 _____

④ 電子メールアドレス _____

⑤ ワークショップ (9 月 29 日・参加費は無料です)

参加する 参加しない

会場へは、JR 米子駅または米子空港駅からタクシーが便利です
アクセス <http://www.yumeminatotower.gr.jp/access/>

⑥ 懇親会 (29 日・参加費 5,000 円。現地で徴収します)

出席する 出席しない

⑦ 見学会 (30 日・参加費 2,000 円。現地で徴収します)

参加する JR 米子駅に集合 米子空港で下車
 JR 境港駅で合流 JR 米子駅で下車
 参加しない